

テレフォニカ・エセ・アー  
ーシンジケート・ファシリティ契約に調印ー

2010年7月29日

テレフォニカ（東証第一部（外国株）：コード9481）は、2010年7月28日に本国で以下の発表を行なった。

本日、テレフォニカは国内外の複数の金融機関との間で総額8,000百万ユーロを上限とするシンジケート・ファシリティ契約（「ファシリティ契約」）を調印した。本ファシリティ契約は二つのトランシュに分割されている。一つは、期間3年の総額5,000百万ユーロを上限とするタームローンで、もう一つは期間5年の総額3,000百万ユーロを上限とするリボルビング・クレジット・ファシリティである。最初のトランシュには、債権者の同意を条件に、当初の返済期限をさらに1年間延長することのできるオプションが含まれている。

本ファシリティ契約のもとで取得する手取金は、以下のとおり使用される。(i) 一部は、テレフォニカの既存債務の借り換え および(ii)一部は、先にPortugal Telecom SG SGPS, S.A. との間で合意したところに従い、同社からBrasilcel, N.V. の株式を買付けるため。

マドリッド、2010年7月28日

以上